



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月11日

上場会社名 デリカフーズホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3392 URL <https://www.delica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大崎 善保

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 仲山 紺之

TEL 03-3858-1037

四半期報告書提出予定日 2021年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	8,578	57.1	282		219		322	
2021年3月期第1四半期	5,459	45.0	1,058		755		600	

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 328百万円 (%) 2021年3月期第1四半期 562百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	21.82	
2021年3月期第1四半期	40.72	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	22,315	6,714	30.1
2021年3月期	22,632	7,116	31.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 6,714百万円 2021年3月期 7,116百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		5.00	5.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		0.00		5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	10.3	60		100		80		5.42
	~ 37,000	~ 16.6	~ 460		~ 500		~ 450		~ 30.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による事業環境の変化による影響を鑑み、レンジ形式により開示しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2.四半期連結財務諸表及び(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	14,872,000 株	2021年3月期	14,872,000 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	108,764 株	2021年3月期	108,764 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	14,763,236 株	2021年3月期1Q	14,753,516 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
3. その他	9
(1) 最近における四半期毎の業績推移	9
(2) 部門別売上高の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により4月下旬には3度目となる緊急事態宣言が発出され、その後緊急事態宣言が解除された地域でも、まん延防止等重点措置継続等の影響により、個人消費の低迷や企業活動の収縮された状況が続いております。ワクチン接種が開始される等の対策が進みつつありますが、新たに変異種の流行が懸念される等、先行きは依然不透明な状況が続いております。

当社グループの属する食品関連業界におきましても、外出・移動の制限による個人の生活様式変容に伴い、一部の小売業では「すごもり消費」や「ロードサイド店のファミリー需要」を取り込むなど、堅調に推移する業態もありましたが、外食産業を中心に、顧客の減少に加えて営業時間の制限を迫られるなど、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、従業員や取引先様等の安全確保継続を最優先事項としつつ、仕入・在庫の厳格管理、廃棄ロスの徹底削減、物流ルートの再編、時間外労務費の縮小等、徹底した効率化を実施して損益分岐点の低減に努めました。また、テイクアウト、ドライブスルー、宅配・デリバリー、専門店等のコロナ禍に強い業態への販売に加え、スーパー・量販店、コンビニ、給食事業、宅配事業等の業態へも積極的に営業を展開することで販売チャネルを拡大し、新規・深耕の獲得に注力しました。更には、新規事業である消費者向け直接販売事業の拡充も推し進めているところです。

また、2021年5月には、当社の強みを活かしながら、従前の延長線上にない、新たなビジネスモデルを構築するため新中期経営計画「Transformation 2024」を発表いたしました。計画の基本方針であります「事業ポートフォリオの変革」、「青果物流通インフラの構築」、「サステナビリティ経営の推進」を実現すべく、具体的な施策展開をスタートさせております。

このように活動強化を推し進める一方で、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響は大きく、当第1四半期連結累計期間における売上高は8,578百万円（前年同四半期比57.1%増）となりました。利益につきましても黒字回復までには至らず、営業損失は282百万円（前年同四半期は1,058百万円の営業損失）、経常損失は219百万円（前年同四半期は755百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は322百万円（前年同四半期は600百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

尚、効率化の徹底による損益分岐点の低減や新規・深耕の獲得強化、新中期経営計画の推進等、経営環境が厳しいながらも、コロナ渦への耐性を確実に強化しております。また、合弁会社・株式会社青果日和研究所での「青果日和」ブランドによるEコマースビジネスやミールキット製造販売等の新規事業の本格展開と合わせ、アフターコロナのマーケット環境に適応するために、確りと体制準備を進めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.4%減少し、8,602百万円となりました。これは、主として現金及び預金が101百万円増加した一方、売掛金が273百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.1%減少し、13,713百万円となりました。これは、主として土地が155百万円増加した一方、建物及び構築物が74百万円、その他の固定資産の中で、繰延税金資産が54百万円、リース資産が15百万円、建設仮勘定が15百万円、投資有価証券が14百万円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し、22,315百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.1%増加し、6,967百万円となりました。これは、主として買掛金が56百万円、賞与引当金が76百万円減少した一方、未払金が48百万円、1年内返済予定の長期借入金が57百万円、その他の未払消費税が55百万円が増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、8,632百万円となりました。これは、主としてリース債務が17百万円減少した一方、長期借入金が84百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.5%増加し、15,600百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.7%減少し、6,714百万円となりました。これは、主として利益剰余金が395百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを検討した結果、現時点におきまして2021年5月11日発表の業績予想に変更はありません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,641,473	4,742,968
売掛金	3,639,908	3,366,646
商品及び製品	143,311	152,354
仕掛品	8,111	9,136
原材料及び貯蔵品	97,921	108,176
その他	375,096	224,949
貸倒引当金	△2,716	△2,201
流動資産合計	8,903,106	8,602,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,285,668	6,210,738
土地	3,759,269	3,914,760
その他（純額）	2,365,564	2,333,928
有形固定資産合計	12,410,502	12,459,427
無形固定資産		
その他	73,724	82,051
無形固定資産合計	73,724	82,051
投資その他の資産		
その他	1,249,742	1,175,786
貸倒引当金	△4,179	△4,179
投資その他の資産合計	1,245,563	1,171,606
固定資産合計	13,729,790	13,713,086
資産合計	22,632,897	22,315,115

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,856,596	1,800,268
短期借入金	2,200,000	2,200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,199,140	1,256,277
未払法人税等	26,183	16,301
未払金	1,327,674	1,375,920
賞与引当金	97,670	21,271
その他	250,544	297,767
流動負債合計	6,957,811	6,967,807
固定負債		
長期借入金	7,604,300	7,689,045
退職給付に係る負債	142,664	147,529
資産除去債務	291,903	292,262
その他	519,432	504,118
固定負債合計	8,558,300	8,632,954
負債合計	15,516,111	15,600,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,377,113	1,377,113
資本剰余金	2,171,446	2,171,446
利益剰余金	3,420,932	3,025,002
自己株式	△24,808	△24,808
株主資本合計	6,944,684	6,548,754
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160,630	156,996
退職給付に係る調整累計額	11,470	8,602
その他の包括利益累計額合計	172,101	165,598
純資産合計	7,116,785	6,714,353
負債純資産合計	22,632,897	22,315,115

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	5,459,812	8,578,214
売上原価	4,707,355	6,915,996
売上総利益	752,456	1,662,218
販売費及び一般管理費	1,810,543	1,944,386
営業損失(△)	△1,058,086	△282,168
営業外収益		
受取利息	557	530
受取配当金	1,393	434
物品売却益	1,670	2,792
受取賃貸料	10,140	11,088
助成金収入	297,047	48,515
その他	8,909	10,437
営業外収益合計	319,719	73,799
営業外費用		
支払利息	7,973	8,638
休止固定資産減価償却費	8,757	—
その他	622	2,852
営業外費用合計	17,353	11,491
経常損失(△)	△755,719	△219,859
特別利益		
固定資産売却益	135	53
特別利益合計	135	53
特別損失		
固定資産除却損	179	188
固定資産売却損	697	—
投資有価証券評価損	—	10,500
操業休止関連費用	5,895	—
訴訟関連損失	—	17,231
その他	119	—
特別損失合計	6,891	27,920
税金等調整前四半期純損失(△)	△762,475	△247,726
法人税等	△161,722	74,387
四半期純損失(△)	△600,752	△322,113
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△600,752	△322,113

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純損失(△)	△600,752	△322,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,254	△3,634
退職給付に係る調整額	△1,353	△2,867
その他の包括利益合計	37,900	△6,502
四半期包括利益	△562,852	△328,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△562,852	△328,616
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準等第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、収益認識会計基準等の適用による、当第1四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載いたしました新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

3. その他

(1) 最近における四半期毎の業績推移

2022年3月期(連結)

(単位:千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	8,578,214			
営業損失(△)	△282,168			
経常損失(△)	△219,859			
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△322,113			
1株当たり四半期純損失(△)	△21.82円			
総資産	22,315,115			
純資産	6,714,353			
1株当たり純資産	454.80円			

2021年3月期(連結)

(単位:千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	5,459,812	8,582,900	9,539,704	8,143,253
営業利益又は損失(△)	△1,058,086	△296,135	212,206	△325,314
経常利益又は損失(△)	△755,719	△259,715	232,761	△249,104
親会社株主に帰属する四半期純利益又は損失(△)	△600,752	△175,712	184,519	△361,345
1株当たり四半期純利益又は損失(△)	△40.72円	△11.91円	12.50円	△24.48円
総資産	22,451,466	22,470,731	22,873,119	22,632,897
純資産	7,386,408	7,235,113	7,427,690	7,116,785
1株当たり純資産	500.65円	490.08円	503.12円	482.06円

(2) 部門別売上高の状況

	2021年3月期 第1四半期 (自2020年4月1日) (至2020年6月30日)		2022年3月期 第1四半期 (自2021年4月1日) (至2021年6月30日)		比較増減 (千円)	比較増減 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)		
カット野菜部門	2,647,648	48.5	4,132,088	48.2	1,484,440	56.1
ホール野菜部門	2,183,010	40.0	3,043,536	35.5	860,526	39.4
その他部門	629,153	11.5	1,402,588	16.3	773,435	122.9
合計	5,459,812	100.0	8,578,214	100.0	3,118,402	57.1